

○演目は中止・変更になる場合があります。 ○お昼を挟んだ体験は昼食をお持ちください。

○体験者・引率者以外の同伴・入室はできません。

施設名	シリーズ	演目名	種別	実施月	内 容	実演時間	体験時間	定員	体験費用	備 考	
上総の農家	生活歳時記	七夕馬作り	実演	7月	茂原市大芝に伝えられる、まこもなどを使った七夕馬を作ります。真竹を細く割いて色付けした、赤や黄色の繊維できれいに飾り立てます。茂原市大芝の七夕馬は令和4年に文化庁の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に指定されました。	9:30~12:00 13:15~15:45	—	—	—	実演日：7月29・30日	
		盆	展示	8月	庭に盆灯籠を立てて、迎え火を焚いて先祖の霊を墓から迎え、仏壇の前にこしらえた盆棚に祀ります。また、墓を掃除して、花とご飯を供えます。そして、盆の終わりとともに送り火をします。	14:00~14:30	—	なし	無料	実演時間に、迎え火（8月13日）と送り火（8月16日）に参加できます。 展示日：8月13・15・16日	
		刈上げ 稲刈りが無事に終わったことを田の神に感謝する行事	展示	9月	無事に収穫できたことを祝い、稲穂とおはぎを荒神様に供えます。	12:00~16:30	—	—	—	—	「オーナー制親子で米作り③稲刈り」終了後に実演し、展示します。 展示日：9月9日
		十五夜	展示	9月	旧暦の8月15日に名月を鑑賞する行事です。いも名月とも呼ばれ、団子や芋を供え、すすきや萩などを飾ります。旧暦では、1ヶ月は月の満ち欠けの周期に近い29日か30日で、15日はほぼ満月になっています。	—	—	—	—	—	展示日：9月28・29日
		十三夜	展示	10月	旧暦の9月13日に名月を鑑賞する行事です。十五夜との関連が深く「片月見はいけない」といわれています。団子や芋を供え、すすきや萩などを飾ります。	—	—	—	—	—	展示日：10月26・27日
		えびす講 恵比寿様をまつり、豊作を祈る行事	展示	12月	恵比寿は、農家では豊作や福徳を授ける神です。恵比寿像・大黒天像の前にご馳走やお金などを供えます。	—	—	—	—	—	実演日：12月1日 展示日：12月1・2日（1日の午後から展示します。）
		冬至	展示	12月	1年のうちで、昼の時間が最も短くなる日です。かぼちゃの煮物を作り、ゆず湯を沸かします。	—	—	—	—	—	展示日：12月22日
		正月の準備	実演	12月	正月を迎える様々な準備をします。長屋門に門松を立て各建物や神棚・神様に注連飾りをします。鏡餅を神棚・床の間などに飾ります。神棚の前には鮭・鯉節・昆布・するめなどを下げます。	—	—	—	—	—	実演日：12月21~24日

#は外部講師による演目です。 ★は新規演目です。 ◎は予約時に抽選を行います。